

## 令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

### 1. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

本校において展開している令和5年度の特別の教育課程においては、課程の編成および実施計画に基づいて計画通りに実施しており、年1回の保護者アンケートにより、保護者の皆様からの声を把握しています。

### 2. 実施の効果及び課題

#### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

開校初年度から、英語に特化した特色のある学校を目指した本校においては、英語の授業だけでなく、体育・音楽・図工・情報の授業において英語イメージ授業を実践することによって、「聴く」という英語習得において重要な学びの素地が養われ、現在では積極的に英語で思いや考えを発信しようという姿勢が育ちつつあります。実技教科の学習内容は日本で学ぶべき教科目標に沿っているため学習内容に不足はなく、その上で、更に各学年には外国人教員が所属していることから、授業中だけでなく、どのタイミングでもコミュニケーションを気軽にとれる環境であるため、授業に関わる会話も英語でやりとりされる場面も多く見られ、英語力向上の効果として表れています。

課題としては、英語力の差が児童間にあるため、児童への英語での語り、指導の語彙のレベルや使い方を全員が分かる(或いは分かろうとする)レベルを保つことに、指導者が留意して授業を展開していくことです。

#### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本校は、目指す児童像において「挑戦・協働・貢献」のできる子を目指し、全ての教育カリキュラムにおいて、あるべき姿として位置付けています。これは、世界を視野に入れ「自主自立や共同の精神を持って活動すること」「進んで外国の文化を理解することで他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」等、英語イメージ授業を通してリンクさせています。また、これらは行事としても取り組んでおり、道内の留学生を学級ごとに1日招待し、その留学生の国や文化・習慣を学ぶ「ワールドデイ」や、1年間学んできた英語を保護者や他学年の児童に発表する「英語パフォーマンス」を通して、学校教育の目標達成のために取り組んでいます。

令和5年度より高学年の希望者を対象に海外研修を実施し、本校で学んだことを実践的な場で活用する機会を設けています。これにより、海外で英語を使って様々な人と交流する経験を、児童がより明確な目標を持って英語の学習に励むことができています。

これらは、日常や毎年の実践の積み重ねと経験が大事なことから、目の前の本校児童の持つ力を掴みながら、効果的な教育を今後も展開します。

### 4. 課題の改善のための取組の方向性

- ・児童の個々の英語力を検定等でも実態把握します。
- ・英語授業を含め、イメージ授業の指導に関わって授業研究を定期的に進めます。
- ・英語を聞き、英語で伝え、共感を持ち、英語を通して新たな知識を獲得する学習場面を意図的に教育の中に組み込みます。